

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	一般小売店〔酒〕（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えなければ、経済も潤うとみている。
	◎	コンビニ（店長）	・観光立県の当県としては、今後2～3か月先に不安材料がない。
	◎	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの8月の販売室数は前年比8%減少とマイナスなのに対して、8月末時点での11月の予約室数は前年比15%増加とプラスに転じている。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症が完全に収束しているわけではないが、部分的には良くなっている業種もあるので少しだけ期待を持っている。
	○	百貨店（経営担当）	・インバウンド需要については、中国の団体旅行が再開されるため、来客数の増加が見込まれる。
	○	コンビニ（経営者）	・来客数、売上共に伸びてきている。
	○	家電量販店（営業担当）	・中国人観光客が増加する見込みである。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・新車生産遅延が少し解消される見込みがあり、景気は良くなると予想している。
	○	一般レストラン（代表者）	・団体客の問合せが増えてきているため、期待している。
	○	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・インバウンドの観光客が以前のように戻り始めているため、地元客の平日の落ち込みをカバーできそうである。
	○	観光型ホテル（代表取締役）	・宿泊については、修学旅行の予約が入っている。この後個人旅行や出張などが増えると予想している。夕食宴会に関してはまだ予約の動きはない。経営的にはまだ厳しいと予測している。
	○	通信会社（営業担当）	・9月後半に話題性のある新商品の発売があり、来客数も増えてくと期待している。
	□	スーパー（企画担当）	・8月10日から中国の団体旅行が解禁され、今後更に中国からの観光客が増加し、県内経済も良くなると見込まれるが、10月には食料品値上げの第3波が予想されていることから、景気は今月と変わらないと見込まれる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今月は月初めの台風などから人出が良くない状態が続いている。季節ものの動きも今のところ良くはないが、これからのインバウンド等、需要の後押しに期待したい。景気はまだ様子をみなければならぬ。
	□	衣料品専門店（経営者）	・余り期待はできない。相次ぐ物価高の影響で、ありとあらゆる物の値上げと燃料費高騰など、景気を減退させるようなニュースが多いためである。
	□	乗用車販売店（経理担当）	・受注量に落ち込みがみられるものの、おおむね変わらないとみられる。
	□	その他専門店〔陶器〕（製造）	・年末に大幅に忙しくなるまでは大きく変動はないと予想している。
	□	旅行代理店（マネージャー）	・今まではコロナ禍の閉塞感から、多少高くても1度は旅行へというマインドになっていた。インバウンド需要も高まるなか、航空券、宿泊代などの値上げが続き、旅行需要も落ち着き出すと考える。
	□	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注状況は前年を上回っているが、前月以前と比べ鈍化している状況である。ただインバウンド需要は引き続き好調に推移している。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	・人件費や建築資材の高騰などもあり、状況は大きく変わらないとみられる。
□	住宅販売会社（役員）	・相変わらず建築費の高騰に県民所得の伸びが追い付いておらず、住宅購入に積極的になるとは考えられない。	
▲	スーパー（販売企画）	・今月は旧盆の行事需要が前年と比べて新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行の効果が大きく出たと考えている。2～3か月先は特に大きな行事はないため、今月と比べるとやや悪くなると予想している。	
▲	コンビニ（副店長）	・原油価格が高騰するもトリガー条項の見送り、毎月のように必要経費増加と商品の料金改定、今後予想される増税に消費者の財布のひもが固くなっていると感じるなか、10月からの人件費の賃上げで体力が持つか危機感がある。収入と支出のバランスが合わず海外支援だけではなく、国内の大胆な消費喚起対策を強く求む。	
×	－	－	－

企業 動向 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	*	*
	□	食料品製造業（役員）	・観光関連は引き続き堅調に推移するとみるが、今後も円安の影響による資源価格等の高騰が続き、厳しい収益環境が続きそうである。また、人手不足は長期的になりそうである。
	□	窯業土石業（取締役）	・見積依頼は公共工事、民間工事とも大きな変化はなく、当面の受注も現状維持を見込む。
	□	建設業（経営者）	・見込み度の高い契約に関して、客との打合せが止まったままである。
	□	広告代理店（営業担当）	・県内企業の販売促進費は、業種によって違いはあるものの、総じて微減の状況が続く。やはり、人件費や資源の高騰が影響しているものとみられる。
	□	会計事務所（所長）	・売上機会は増えるが、原料費、人件費等のコストアップも著しい。
	▲	—	—
	×	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（営業）	・秋口での社員採用が増えると予測している。依然として人手不足の声も多い。ただ最低賃金が大きく上がるため人件費が増加する企業にとっては採用をちゅうちょする場合もあるかと予測している。
	○	職業安定所（職員）	・観光客増加に伴うインバウンド需要の増加が見込まれる。
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	・これから年末に向け2025年卒向けのイベント案内や求人数が増えてくるため、徐々に増えてくるとみられる。また、2024年卒求人でも年内で決めたい企業も多いため、求人数が増えることも見込まれる。
	□	人材派遣会社（総務担当）	・物価は上昇しているが、なかなか賃金アップにはならず、求職者数が不足している。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	・物価高騰が収まるようには見受けられない。
	▲	—	—
	×	—	—